平成２９年度赤い羽根共同募金　具体的取組計画

スローガン「助け合い　広がる　つながる　赤い羽根」

朝来市共同募金委員会

◇ 取組方針

今日の地域社会は、「無縁社会」という言葉に強調されるよう、近隣関係の希薄化等により社会的孤立から現れる、様々な福祉課題が多様化・深刻化しています。このような人々の生活を支えるため、地域支援や個別支援、地域のネットワークづくりなど、生活を支援する地域づくりが求められています。

生活困窮や困りごとなどの課題を、地域の方と共に考え、支援していくために、様々な市民活動への有効な財源として共同募金を位置付け、広報啓発活動を展開し、市民の地域福祉活動への意識の一層の高まりと活動の拡大を目指します。

◇ 取組事項

◆地域住民が共同募金の役割を身近に感じられるよう、広報等の活動によって広く運動の趣旨をご理解頂くと共に協力を呼びかける。

- ・9月を広報月間として、社協広報、ポスター、啓発チラシを作成し、募金趣旨と配分使途などをPRする
- ・配分事業の内容や成果を住民や寄付者に分かりやすく示すため、社協だより、ホームページに掲載する

◆住民が身近な地域で参加できる共同募金運動を推進する

- ・戸別募金への協力が「じぶんの町をよくするしくみ」として地域福祉の推進に役立つことを意識してもらい、強制感をなくしたり個人情報保護の点から、封筒募金を継続実施する
- ・CATVにおけるスポットコマーシャルの放映し啓発する
- ・街頭募金のボランティアを募り、多くの市民の方に係わりを持っていただく
- ・スポーツ大会やイベント会場で募金活動を行い、グッズやあさごふれ愛の郷の製品を募金付で販売する

◇ 29年度募金計画額及び具体的取組計画(案)

	29年度募金計画額	28年度実績額 (27年度実績額)	
1 戸別募金	6,500,000	6,636,444 (6,626,779)	市内各区長を通じ募金運動を展開 区長…ご依頼状　市内統一チラシ(隣保回覧)・募金用封筒・赤い羽根　9月末お届け 募金取り纏め　10月末 募金集計　各地域センターで開封集計
2 街頭募金	100,000	98,608 (116,915)	各地域センター・事業所・道の駅等での募金箱の設置 団体行事や各地域センター窓口での募金付きグッズの販売 但馬食文化まつり、道の駅但馬のまほろば、フレッシュあさご、イオン和田山店などで街頭募金を行う (募金推進委員・社協役職員、公募ボランティア)
3 法人募金	1,490,000	1,990,500 (2,027,300)	前年度ご協力頂いた法人を中心に募金協力依頼 9月末にご依頼状送付 職員が依頼に伺う
4 学校募金	120,000	126,340 (121,113)	市内小中学校及び高等学校・特別支援学校へ依頼 募金用封筒・学校掲示板ポスター 教職員用手引書配布
5 職域募金	202,000	202,285 (202,666)	市役所その他事業所・社協各事業所等で 募金箱の設置若しくは回覧等の方式により実施
6 その他の募金	14,000	13,000 (42,796)	
募金合計	8,426,000	9,065,177 (9,137,569)	

↓

広域目標　652，000円　＋　地域目標額　7,774,000円　（含む　事務費234,000円）